和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	防災学概論
科目基礎情報					
科目番号	0011		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	環境都市工学科		対象学年	1	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	プリント				
担当教員	辻原 治				
到達目標					
(1)災害発生のメカニズムについて説明できる。 (2)地震と構造物の被害の関係について説明できる。 (3)防災・減災の基本的な事項について説明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
災害発生のメカニズムについて説明できる	災害発生のメカニズムについて説明でき、資料に基づき問題が解ける	災害発生のメカニズムについて説明でき、資料に基づき簡単な問題が解ける	災害発生のメカニズムについて説明できない、または、資料に基づき問題が解けない		
地震と構造物の被害の関係について説明できる	地震と構造物の被害の関係について説明でき、資料に基づき問題が解ける	地震と構造物の被害の関係について説明でき、資料に基づき簡単な問題が解ける	地震と構造物の被害の関係について説明できない、または、資料に基づき問題が解けない		
防災・減災の基本的な事項について説明できる	防災・減災の基本的な事項について説明でき、資料に基づき問題が解ける	防災・減災の基本的な事項について説明でき、資料に基づき簡単な問題が解ける	防災・減災の基本的な事項について説明できない、または、資料に基づき問題が解けない		
学科の到達目標項目との関係					
C-1					
教育方法等					
概要	環境都市工学科では関係する専門科目において、各分野の災害と防災について詳しく学習する。この科目では自然災害発生のメカニズムと被害を俯瞰し、防災・減災のための基礎について概説する。各種の自然災害を俯瞰し、土木技術者として災害の全体像を把握するのに役立つ。				
授業の進め方・方法	毎回、課題を出す。				
注意点					
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	シラバスの説明, 近年の自然災害	1945以降に発生したわが国の主な自然災害を知る	
		2週	近年の自然災害	1945以降に発生したわが国の主な自然災害に関する問題について、資料に基づいて答えることができる	
		3週	地震	地震に関する基礎知識を得るとともに、問題について、資料に基づいて答えることができる	
		4週	地震と構造物	耐震設計の基本的な考え方を説明できる	
		5週	津波	津波の発生メカニズムが説明できる	
		6週	液状化および土砂災害	液状化および土砂災害の発生メカニズムが説明できる	
		7週	風水害	風水害の発生メカニズムが説明できる	
		8週	中間試験期間		
	4thQ	9週	答案返却および火山災害	火山災害の発生メカニズムと被害が説明できる	
		10週	南海トラフ巨大地震の想定	南海トラフ巨大地震の想定概要が説明できる	
		11週	災害情報とハザードマップ	災害情報とハザードマップの概要が説明できる	
		12週	避難と避難行動	避難を妨げる災害時の心理について説明できる	
		13週	身近でできる防災対策Ⅰ	家具の固定や建物の耐震補強の重要性について説明できる	
		14週	身近でできる防災対策Ⅱ	災害時に役立つロープワークができる	
		15週	期末試験		
		16週	答案返却		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	課題	合計	
総合評価割合		60	40	100	
配点		60	40	100	
		0	0	0	